

# 『売上向上』に向けたデータ活用経営を実現した組織活性化 - ウェアラブルセンサーを活用した働き方改革 -

従業員の行動データを基に組織の活性化を図り、売上向上に貢献します。

業種共通



組織が活性化し、従業員がいきいきと働くことで生産性の向上が期待できます。名札型のウェアラブルセンサーを用いて従業員の行動データを計測、可視化、分析して、組織活性度を高める施策を立案。売り上げの向上につなげます。

## 課題

## Challenges

さらなる生産性向上を目指した働き方改革を推進したい

- 働き方改革に当たり、勤怠や業績結果からのデータ分析は十分にできているが、プロセスやコミュニケーションの状況把握は困難。分析に生かせるようにしたい。
- 働き方改革への改善施策の有効性を判断したい。
- さらなる生産性向上を実現したい。

## ソリューション

## Solutions

従業員の行動データを分析し組織の活性化を支援

従業員の行動データを計測し、組織の生産性に強く関連する「組織活性度」を算出します。さらに、計測した行動データを解析することにより、行動の状態（話し手・聞き手の関係性、デスクワークの集中度合いなど）を意味付けした「行動指標データ」を生成します。

これらをお客さま保有の業務データと掛け合わせることで、新たな観点での分析を実施。組織の活性化に寄与する施策が立案できるようになります。

組織活性度:組織がいきいき働いている指標

## 特長

## Features

効果的な施策を導出する分析ノウハウ

- 従業員の行動データを定量的に把握し、組織の活性度（生産性）を評価するKPIとして活用できます。
- これまで、客観的な評価が困難だった組織の職場環境が数値化されるため、組織の活性度を定量指標によって評価できるようになります。
- 行動データは、お客さま企業の従業員に名札型のウェアラブルセンサーを身に着けていただくだけで計測・可視化できます。

KPI:Key Performance Indicators

## 効果 Outcomes

座席位置と対面時間の関係に着目し、オフィスのレイアウトを変更した結果、社内コミュニケーションが活性化され、売り上げが7%向上。

# 『売上向上』に向けたデータ活用経営を実現した組織活性化 - ウェアラブルセンサーを活用した働き方改革 -

従業員の行動データを基に組織の活性化を図り、売上向上に貢献します。

導入実績：ウイングアーク1st株式会社

